

CATIA/ENOVIA/DELMIA Community Conference

出展のお知らせ

AIKOKU
ALPHA

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、アイコクアルファ株式会社は、ダッソーシステムズ株式会社が主催します「CATIA/ ENOVIA/ DELMIA Community Conference 名古屋」へ出展します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬 具
アイコク アルファ 株式会社

日 時

2013年 7月 25日(木)

10:00-17:20

<http://www.3ds.com/jp/company/events/>

※お申し込みは、7/25の名古屋会場にある“お申し込み”タグを選択してください。

3D CATIA 3D ENOVIA 3D DELMIA
Community Conference

主 催

ダッソー・システムズ株式会社

会 場

ミッドランドホール

名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 ミッドランドスクエア オフィスタワー5F

<http://www.midland-hall.com/access/>

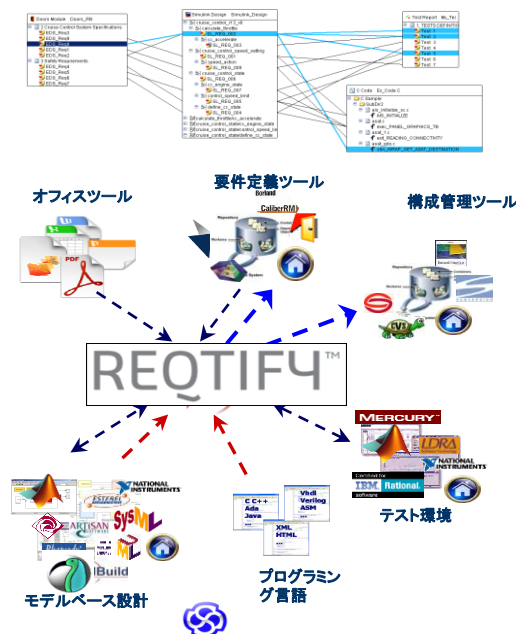
弊社出展内容

V6 CATIA Systems / Reqtify

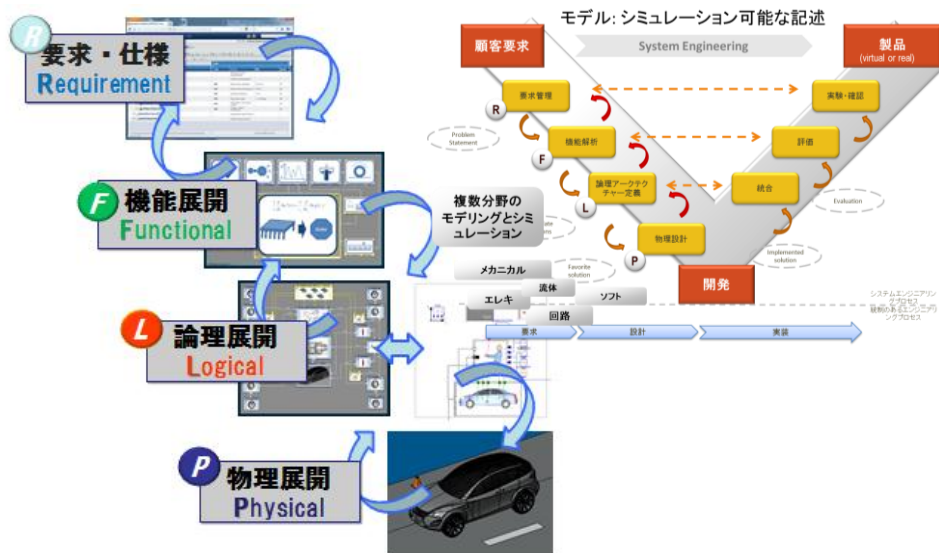
製品の複雑化とともに断絶が進むメカ、エレ、ソフトの各領域間のコミュニケーションの円滑化や、製品の価値を向上させるためのシステム・エンジニアリング製品をご紹介します。
システム・エンジニアリングを統合環境で実現するV6プラットフォーム。その概念である「RFLP」と動的システムのシミュレーションをおこなうDynamic Behavior Modeling、ISO26262をはじめとする機能安全や要求仕様管理で要となるトレーサビリティを実現するReqtifyをご紹介します。

展示内容

Reqtify:
トレーサビリティを実現



V6 CATIA Systems:
統合環境でのシステム・エンジニアリングを実現



7月25日(木) 名古屋会場 プログラム

	CATIA Community AM:ゼネラルセッション	ENOVIA Community AM:ゼネラルセッション	DELMIA Community AM:ゼネラルセッション
10:00	[G-1] Play 3DEXPERIENCE !	[G-1] Play 3DEXPERIENCE !	[G-1] Play 3DEXPERIENCE !
	ご挨拶に続き、ダッソー・システムズが提唱する3Dエクスペリエンスメッセージと大好評のうちに無事終了した3DEXPERIENCE Customer Forum 2013のダイジェストを映像を交えてご紹介いたします。 (ENOVIA Community, DELMIA Communityでは、CATIA Communityからの中継で聴講いただきます)		
10:40	ダッソー・システムズ株式会社 代表取締役社長 鍛冶屋 清二		
10:50	[C-1] 3Dエクスペリエンスの文脈における新しいCATIA	[E-1] ENOVIA General Session	[D-1] DELMIAの最新ソリューション動向
	PLMの登場によってCADに求められるものが変化したように、3Dエクスペリエンス・プラットフォームでもCATIAに求められるものは進化をしています。このセッションでは、3Dエクスペリエンスの文脈における新しいCATIAと題し、CATIAの今と未来の姿を3部構成でお送りします。 第1部: CATIA Promise - Indispensable to shape the world we live in Dassault Systèmes CATIA Brand WW Sales Vice President Pierre MEVIL-BLANCHE 第2部: 「2020年の日本」にむけてCATIAが可能にする新しいエクスペリエンス ダッソー・システムズ株式会社 CATIA事業部 テレクター 田中 昭彦 第3部: デモンストレーション「みんなで使えばこんなに便利、CATIAのスペシャリストがお見せする2013年のCATIAの今」 ダッソー・システムズ株式会社 CATIA事業部 営業技術部	ENOVIA CEOのAndy KALAMBI, ENOVIA User ExperienceのJonathan GABLEよりENOVIAの最新情報並びに、ポートフォリオ、ユーザエクスペリエンスを紹介します。 (日本語逐次通訳) Andy KALAMBI ENOVIA CEO, Dassault Systèmes Jonathan GABLE Strategic Planning Director, ENOVIA UX, Dassault Systèmes	DELMIAソリューションは、従来の工程設計、リソースモデリング、リソースシミュレーションに加え、製造実行ソリューション領域へとその対象範囲を拡大して来ています。製造業のお客様の課題解決のヒントをご提供すべく、DELMIAの最新ソリューションを幅広くご紹介いたします。 ダッソー・システムズ株式会社
12:00			
12:15	[C-2] ランチョンセッション: アイコクアルファ株式会社	[E-2] ランチョンセッション:新日鉄住金ソリューションズ株式会社様	[D-2] ランチョンセッション: セニット・ジャパン株式会社様
	製品の複雑化とともに断絶が進むメカ、エレ、ソフトの各領域間のコミュニケーションの円滑化や、製品の安全性を組み込むためのシステム・エンジニアリング製品をご紹介いたします。 ISO26262をはじめとする機能安全や要求仕様管理で要となるトレーサビリティを実現するRectify システム・エンジニアリングを統合環境で実現するV6プラットフォーム。その概念である「RFLP」と動的システムのシミュレーションをおこなうDynamic Behavior Modelingをご紹介いたします。	ENOVIAのENOVIAのインダストリー・エクスペリエンスを高度に実現するためのサース“NS Beats”とはNSOLのPLMサービス20年の経験から培った 技術、ノウハウを再利用可能なテンプレートとしてご提供するものです。CBP, Accelerator, NSCozy, TVCなど ENOVIAの実装に関して様々なアプローチで豊富な経験を持つ当社だからこそご提供できる、高いユーザビリティ、安定した品質の業務システムを効率的にご提供するソリューションです。	セニット・ジャパン(株)はCATIA/DELMIA製品を補完するCAA製品、特に生産設備検討から製造現場へのオンラインプログラムまでのデジタル・マニュファクチャリング製品の販売及びサポートを行っております。欧米での多くのユーザーでの経験、ノウハウと日本の製造業向け先端技術を 融合させたユニークなサポートを提供しております。 NC/マシニング技術から独自の形状認識技術を使ってロボットプログラムを自動生成する事により、ティーチング時間・費用を大幅に短縮します。自動車部品メーカー、航空宇宙部品メーカーから一般製造業のお客様に見えぬソリューション及び事例をご紹介いたします。
13:05			
	PM:ブレイクアウトセッション	PM:ブレイクアウトセッション	PM:ブレイクアウトセッション
13:30	[C-3] ユーザー事例: CATIAV6のリアルなエクスペリエンス: SIM-Drive第3号プロジェクトにおけるコラボレーションを語る	[E-3] ENOVIA V6の活用: その1 SmartTeam & VPMから5ENOVIA V6への移行 (V5→V6 migration)	[D-3] DELMIA V6 最新情報と活用例のご紹介
	SIM-Drive様はダッソー・システムズ社と戦略的パートナーシップを締結しており、第2号車の開発からCATIA V6を使って電気自動車車の先行開発を行っています。このセッションでは2013年3月に完成した第3号プロジェクトに参加された株式会社三五様、アルゴグラフィックス様、そしてSIM-Drive様の3社の座談会形式で、3号プロジェクト開発における実際のコラボレーションの状況をお話しいたします。 【パネリスト】 株式会社三五 ボデー部品設計部 設計課課長 村上 章 様 (SIM-Drive 3号プロジェクト常駐メンバー) 株式会社 アルゴグラフィックス ソリューション開発部 山田 稔 様 (SIM-Drive 3号プロジェクト常駐メンバー) リンツリサーチエンジニアリング株式会社 代表取締役 小松 隆 様 (元 株式会社SIM-Drive ボデー開発部長、元 本田技術研究所チーフエンジニア) 司会: ダッソー・システムズ株式会社 CATIA事業部 岡部 英幸 (SIM-Drive 2号プロジェクト常駐メンバー)	現在、V5 (またはV4) をご使用中のお客様が、V6環境への移行を考えるにあたっては、まず、どこからスタートすればよいでしょうか？ お客様現在の環境は、フルベースであったり、またENOVIA SmartTeamやENOVIA VPM等のPDMソリューションをご使用されている場合もあったり、現在の環境と適用範囲によって移行への様々な課題が考えられるかと思えます。 本セッションでは、V6への移行を検討いただいているお客様に考慮していただきたいポイントや、具体的な移行シナリオ、移行のためのツール等についてご紹介いたします。 ダッソー・システムズ株式会社	製造業では、工場のみならず開発・生産準備地点が世界中に展開・分散される一方、同時に生産準備期間の短縮、品質向上が求められております。DELMIA V6が実現する工程計画、リソース計画の可視化・共有化の力を、最新リリースのアップデートを交えて紹介いたします。 ダッソー・システムズ株式会社
14:15			
14:25	[C-4] CATIA のうれしい機能 No1 Lost in Translation: デザインと設計のコラボレーション	[E-4] ENOVIA V6の活用: その2 大規模化・グローバル化して設計業務にSolidWorks+V6で効率化	[D-4] ダッソー・システムズの実行管理・品質管理ソリューション: DELMIA Operations
	デザイナーと設計者のシームレスなコラボレーションは、永遠のテーマです。魅力的でありかつ実用的、洗練されていてかつ高品質と言った製品の実現のために、時には相反する価値観を持った者同士が、それを拘束条件と考えずコラボレーションを実現する。このセッションではその不可能を可能にしたCATIA V6の新しい魅力と実力、を交換に明け暮れていく目標を失ってしまったあなたに一筋の光明をお届けします。 【対象ユーザー】 意匠デザイン部門、設計部門でデザイン・機構設計・筐体設計等に従事されているデザイナー、エンジニア、モデラーの方、データ交換でお困りの方 ダッソー・システムズ株式会社	設計・開発拠点の海外展開や顧客ニーズに合わせたものづくりの必要性のため、製造業ではグローバル化への対応が求められているとともに、部門や国境を越えた技術情報の一元管理の重要性は増しています。また、製造業で作成される製品は日々刻々と進化しており、製品構造はより複雑化、それに伴い製品データも大規模・複雑な構造をしたアセンブリデータの作成が必要になってきています。 そのため、設計業務では、拠点間を意識させないパフォーマンス確保や一元管理、製品一台分の大規模アセンブリデータによる検討、検証といった課題がCAD・PDMシステムに求められますが、SolidWorksとV6を組み合わせてのことにより、そのような課題解決を図ります。 ダッソー・システムズ株式会社	製造現場において、作業指示書や製造品質記録など、紙の帳票が山積みで、必要な時に必要な帳票が探せない、という課題はありませんか。また、仕様どりに製造しているにも関わらず、製品品質が不良で廃棄品が頻発し、原因も分からず、対策が立てられない、という課題はありませんか。 本セッションでは、そのような課題を解決するDELMIA Operationsソリューションをご紹介します。各種帳票をWeb化し、現場の状況をリアルタイムに確認。また、製造記録から、製造品質に影響する要因を識別、品質の最適化に貢献いたします。 ダッソー・システムズ株式会社
15:10			
15:40	[C-5] CATIA のうれしい機能 No2 RFLP in motion: システム設計と機器設計のコラボレーション	[E-5] ENOVIA V6の活用: その3 ユーザー事例: ENOVIA V6によるCATIA V5マナジメント (Parker Aerospace)	[D-5] 検討内容の共有による生技と現場の意思疎通の効率化
	製品の複雑化や様々な規制・規格への対応、Global対応など、製品開発および製造の環境は大きく変化しています。 開発すべき製品を初期段階から定義し、関連する部門が一体となり後戻りなくリリースするため、ダッソー・システムズは製品開発におけるシステム設計と3次元設計の新たな連携手法を提案いたします。 【対象ユーザー】 ワイヤーハーネス等機器・設備系の設計担当者、制御・メカ・エレキの連携を必要とする方、製品アーキテクト、システム設計 ダッソー・システムズ株式会社	ワールドワイドでのCATIA V5の統合管理により大きな成果を上げた、Parker Hannifin社のAerospaceグループの事例を発表ビデオと資料を交えて紹介します。 世界43拠点、7事業体でCATIA V5統合管理をENOVIA V6 Designer Centralにて実現し、大幅なコスト削減やリードタイム短縮を実現した事例です。 Jonathan GABLE Strategic Planning Director, ENOVIA UX, Dassault Systèmes	製造業においては常に製品品質の向上や作業の効率化が求められており、仮想空間での課題抽出と他部門との共有が重要視されています。DELMIA DPEに保存された工程順序や組立て成立性検討の結果、およびリソース情報を、WKCを活用して早期段階から現場と共有し業務を効率化する方法を紹介いたします。 ダッソー・システムズ株式会社
16:25			
16:35	[C-6] CATIA のうれしい機能 No3 Design to Manufacturing: 設計から製造へ 複合材、シートメタル、金型ソリューション	[E-6] ENOVIA V6の活用: その4 サプライヤー様は今、3Dエクスペリエンス・プラットフォーム(V6)を検討すべきか	[D-6] ユーザー事例: 海外DELMIAユーザー事例
	製造、組み立て性を考慮した製品設計は開発工数の削減、製品コストと品質改善を実現します。 そのためには製品設計側と製造側が設計ルールと製造ルールを共有しつつ、常時グローバルにシミュレーション上で協調設計できる環境が不可欠です。当セッションでは板金、樹脂物、複合材を例にそのDesign to Manufacturingをご紹介します。 【対象ユーザー】 製品設計、生産技術、製造部門のエンジニア、モデラー ダッソー・システムズ株式会社	多くのOEMやその他のお客様が弊社のグローバル・プラットフォーム(3Dエクスペリエンス・プラットフォーム)を採用、運用し始めました。しかしながら、CATIA V5をお使いになられている全てのOEMがCATIA V6へ移行したわけではありません。そのような状況の中、サプライヤー様として、OEMやその他のお客様に先行して3Dエクスペリエンス・プラットフォームを検討・採用するメリット・必要があるのでしょうか。サプライヤー様として、どこに判断基準を置けばでしょうか。既に、幾つかのサプライヤー様は3Dエクスペリエンス・プラットフォームを採用し始めました。サプライヤー様にとって“V6”が、今お役に立つソリューションであることをご紹介いたします。 Dassault Systèmes / ダッソー・システムズ株式会社	海外のDELMIAユーザー事例をご紹介します。 ダッソー・システムズ株式会社
17:20			

※プログラムは予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。

3S CATIA

3S ENOVIA

3S DELMIA

3つのブランドが一堂に会しユーザー会を開催します！

CATIA/ENOVIA/DELMIA Community Conference

名古屋：7/25（木）

会場：ミッドランドホール

ユーザーの皆様、是非ご参加ください！

本イベントは、当社が提唱する3Dエクスペリエンスメッセージと好評のうちに終了した 3DEXPERIENCE Customer Forum 2013のダイジェストを皮切りに、本イベントの中核であるCATIA/ENOVIA/DELMIAブランドソリューションを現場の実務者及び推進者の方々により分かりやすくかつ実践的な観点で紹介する場です。

より多くの方々に3Dエクスペリエンス下のCATIA/ENOVIA/DELMIAブランドソリューションのビジョン・最新状況や活用技法・事例、そして製品からソリューション・バリュー等をご提供するとともに、お客様の日頃の課題を解決できるコミュニケーションの場を共有したいと思います。

各ブランドのユーザー様への情報提供、交流等を最重視しながら、3つのブランドの連携、プロダクトからソリューションへの理解度を高めていただく機会としてご活用いただければ幸いです。

日ごろから弊社製品をご使用の皆様へ、お役立ち情報を盛り込んだセッション及び各ブランドの展示も併設いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

**受講者には受付にてもちろん当社特製ロゴ入り
イタリア製ノートブック・ペンケースを進呈！**

**受講料：無料
是非ご参加ください！**



詳細 → <http://www.3ds.com/ja/events/>

登録 → 名古屋 <http://bit.ly/185Ih0N>

※参加対象者：ユーザー様及び導入検討中のお客様 ※応募多数の場合には抽選となりますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

ダッソー・システムズ株式会社 マーケティング TEL：03-5442-4137

Email: Japan.Marketing@3ds.com